

こどもの病気の基礎知識 ～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～

今年の8月、国立感染症研究所は、“人食いバクテリア”とも呼ばれ、手足のえ死を引き起こし死に至ることもある「劇症型溶血性レンサ球菌(溶連菌)感染症」の患者数が、過去最多になっていることを発表しました。

溶連菌感染による一般的な疾患は咽頭炎であり、その多くは小児が罹患します。

一方、劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、菌がノドや手足の傷口から血液内に侵入して劇症型(発病後、短時間のうちに症状が進むこと)になります。子供から大人まで広範囲の年齢層に発症しますが、特に30歳以上の大人に多いのが特徴です。免疫不全などの持病をほとんど持っていないにもかかわらず、突然発病する例が多いとされています。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内にはショック状態から死に至ることもあります。最も一般的な初期症状は手足の激痛および発熱ですが、激痛の前に、悪寒、筋肉痛、下痢のようなインフルエンザ様の症状や錯乱など意識障害がみられることもあります。

治療は抗菌薬による治療を含めた集中治療が行われます。

筋膜(※)に炎症がある場合は、切除し感染の拡大を防ぎます。早期に治療を開始することが重要です。

傷を清潔に保ち、発熱に伴って、手足の痛みや、創部(皮膚にできた傷跡)の発赤やはれ、痛みなど、感染の兆候が見られた場合には、直ちに医療機関を受診しましょう。

※筋膜：筋肉だけを包む膜ではなく、骨・内臓器官・血管・神経など身体のあらゆる構成要素を包み込み、それぞれの場所に適正に位置するよう支えているもの



3歳児検診にエコチルブースができました!

9月より、3歳児検診の会場(東保健所・和白コミュニティセンター)に、エコチルブースを設けることになりました。

みなさまとの触れあいの場として、エコチル調査をより身近に感じていただける機会になれば…と思っています。

質問票についてのご質問や、紛失された場合の再送付なども受け付けていますので、お気軽にお声かけください。

みなさまにお会いできますことを
楽しみにお待ちしております



～エコチルブースのようす～
こちらでお待ちしております!



謝礼のお受け取りについて

質問票の謝礼の図書カードは簡易書留でお送りしています。

ご不在の場合は、ポストに不在連絡票が入りますので、郵便局にご都合の良い日時をお知らせの上、お受け取りをお願い致します。

フリーダイヤルのご利用について

ご登録内容の変更など各種ご連絡は、下記フリーダイヤルまでお願い致します。また、事務局からみなさまへご連絡をさせていただく際にもこの番号からおかけしますので、ぜひご登録をお願い致します。

0120-155-539

※携帯・PHSからもご利用になれます。

引き続きエコチル調査へのご協力をよろしくお願い致します



■発行
九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1
九州大学コラボレーションⅡ701
TEL: 0120-155-539
(フリーダイヤル: 携帯・PHS
からもご利用いただけます)

